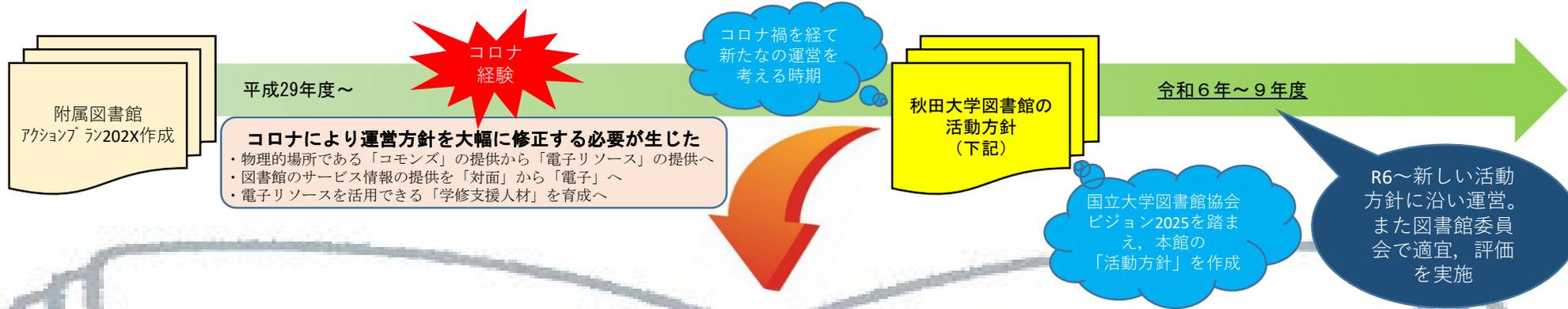


秋田大学附属図書館の今後の活動方針

— 「国立大学図書館協会ビジョン2025」を踏まえて—



秋田大学附属図書館の活動方針 令和6年度～令和9年度

＜知の共有＞方針1 : 本学研究者が生産した研究成果のオープンアクセスを推進する。

行動計画: 本学研究者が生産した学術成果(論文、紀要等)を積極的にOA論文とさせるため、これまでに転換契約を実施した出版社については、**契約更新時期に検証を行い、その効果が認められた場合は、引き続き同契約を更新する。**また、機関リポジトリについては一層の充実を図るとともに、研究データへの対応を推進する。

方針2 : 蔵書の適正な保存のため、**老朽化した書架を更新するとともに、**学生の意見も取り入れ、図書館建物の修繕・整備を行い、学生・研究者等が安心して利用できる環境を提供する。

行動計画: 老朽化し部品供給が難しくなった書架の更新を複数年計画(4カ年)で行う。学生と館長との懇談会により得られた意見を検討し、対応可能な意見においては改善する。

＜知の創出＞方針1 : 電子ジャーナル、電子ブックの利用を促進する。また、閉館後利用について他図書館や学内の調査を実施する。

行動計画: 利用者の要望を把握し、**電子ジャーナル、電子ブックを拡充する。**また、コロナの影響により中止していた中央図書館における閉館後利用の再開について、他館や学内の調査を実施し、閉館後利用の再開を検討する。

方針2 : 学外者も参加可能な**イベントや蔵書の特別展示を実施する。**

行動計画: ビブリオバトルなどのイベントや、定期的または時機にあった蔵書特別企画展を実施し、**学外者も含めた入館者数の増加を促進する。**

＜知の媒介＞方針1 : 東北地区の各国立大学と協働し、**勉強会を企画・開催、及び参加し、**職員の知識向上を図るとともに、他大学図書館との連携を強くする。

行動計画: 東北地区各国立大学と協働し、図書館運営に必要な**多種多様なテーマの勉強会を企画・開催する。**また参加者ともなり、両面への参画により本館職員の知識向上を図る。

方針2 : **情報リテラシー教育への参画を担える図書館職員を育成する。**

行動計画: 館内における学生指導のほか、情報リテラシー教育などの**授業へ講師として参画する。**また、国内・外、あるいは館種を問わず**多くの図書館を見学し知見を広め、本館への運営改善に繋げる。**